

国士舘大学大学院入学試験問題用紙

修士課程

留学生選考

研究科	専攻	試験科目	参考書等持込
法学研究科	法学専攻	小論文（志望専修科目の基礎）刑事法研究	不可

日本の刑事司法について、あなたの理解を述べ、今後の日本の刑事司法はどのようにあるべきだと考えるかを論じてください。

令和8年度 国士舘大学大学院入学試験

出題の意図と採点のポイント

研究科名	法学研究科 法学専攻
試験期別	I期
試験区分	留学生選考
試験科目名	刑事法研究(小論文)

■出題の意図

留学生が日本で日本法を学ぶ前提として、日本の刑事司法についての理解の程度を図るために出題した。

日本の刑事司法については、様々な評価があるところである。日本は世界の中でも治安がよい国だと考えられているが、その理由の一つとして現行の刑事司法が起因していると評価するかどうかは、考え方が分かれるかもしれない。現行の刑事司法に対する評価についても、「精密司法」論のように一定の評価をする立場もあれば、「検察官司法」論のように批判的な立場もある。こうした日本での議論も参照しながら、自らが日本の刑事司法についてどのような理解をしているのか、今後はどのようにあるべきだと考えるかを、論じてもらうことを意図している。

■採点のポイント

小論文であるから、以下の点を採点のポイントとしている。

- ① 出題に正面から回答しているか
- ② 自らの考え(結論)は明示されているか
- ③ 前提となっている知識に誤り(誤字・脱字含む)はないか
- ④ 理由付けは適切になされているか
- ⑤ 結論と理由とは対応しているか
- ⑥ 主体的に考える姿勢が示されているか